E４
東北道 TOHOKU EXP

（仮称）八幡平スマートＩＣ（インターチェンジ）が新規事業化
一般道と高速道路の連結を許可

東北自動車道に接続する「（仮称）八幡平スマートインターチェンジ」が新規事業化となり、スマートＩＣの整備実現に向け大きく前進することとなりました。
本号では計画の概要などについて紹介します。
■問い合わせ先　建設課土木係（☎・内線１２９４）

スマートＩＣの新規事業化

国土交通省は９月30日（仮称）八幡平スマートインターチェンジ（ＥＴＣ専用のインターチェンジ、以下「スマートＩＣ」）について事業許可を行いました。

このスマートＩＣの整備により、東北有数のスキーリゾートである安比高原スキー場や周辺エリアへの利便性の向上、地域経済の活性化、救急医療などの医療施設へのアクセス向上など、本市のまちづくりに大きな効果が見込まれます。

高速道路との連結の許可

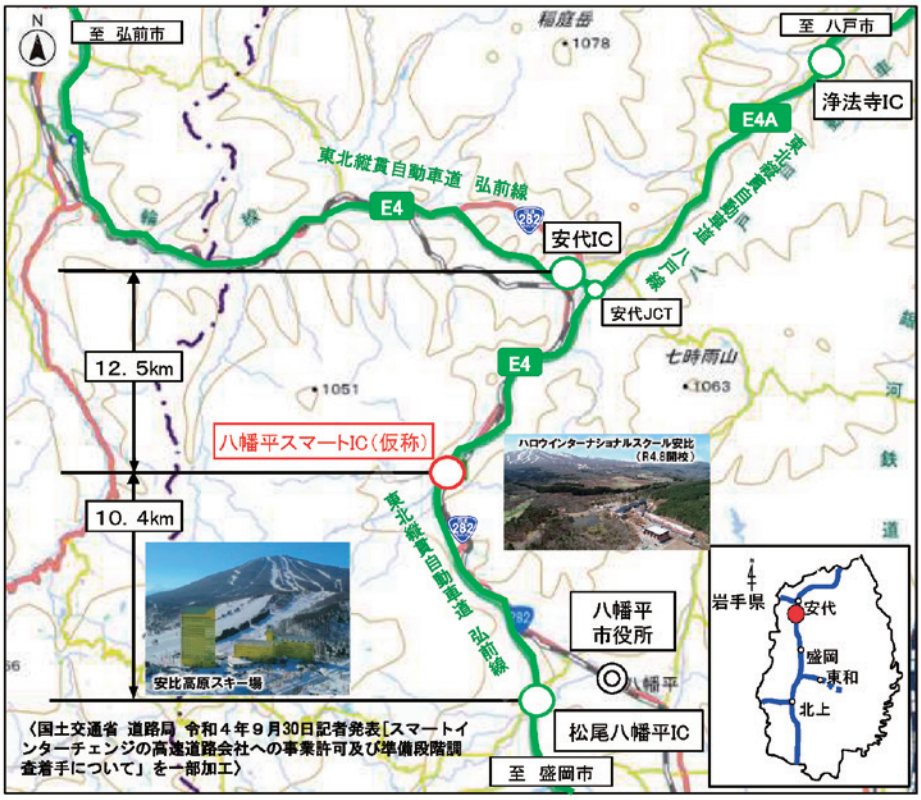
新規事業化にあたり、一般道と高速道路との連結が許可され、10月12日に国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所近藤修所長から佐々木孝弘八幡平市長に連結許可書が伝達されました。

佐々木市長は「今日に至るまでに、多大なご尽力を頂いた各関係機関に厚く御礼申し上げる。スマートＩＣは、更なる観光の振興、救急医療の確保などが見込まれ、本市がさらに発展するための非常に大きな要素であり、今後も、順調に整備が進むよう各関係機関と共に事業の進捗を図って行きたい」と強調しました。

近藤所長（右）から連結許可証の伝達を受ける佐々木市長

早期の整備実現に取り組む

市は今後、ＮＥＸＣＯ東日本などと事業の実現に向けた協議を行いながら、スマートＩＣの実現に向けて、取り組みを進めていきます。



〈国土交通省 道路局 令和４年９月30日記者発表［スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可及び準備段階調査着手について」を一部加工〉

計画概要

路線名	東北縦貫自動車道 弘前線（松尾八幡平IC～安代IC間）
接続形式	本線直結型
形式	全方向（４／４）
運用形態	全車種　24時間